

**加茂駅周辺まちなかエリアでの  
賑わいと活力あふれた  
持続可能なまちづくりの推進に向けて**

**令和5年6月28日**

**第1回 加茂駅周辺まちなかエリアプラットフォーム準備協議会**

# ① エリアプラットフォーム構築と 未来ビジョン策定について

# エリアプラットフォームと未来ビジョンについて

## 本事業の背景

- R3加茂市総合計画にて「人が集い、賑わいと活力があふれ稼ぐ力と雇用を生み出すまち」を目指すための方策として **加茂駅周辺のまちなかエリアの市街地活性化**が明示。
- 加茂市全体の活力をけん引していく **最も重要な拠点**として位置づけられるべきエリア
- エリア内での様々な主体の取組が個々にではなく、それらの連携によるエリアの価値向上が必要
- エリア内の課題解決や賑わい創出の取組を戦略的・継続的に推進するため、官民の垣根を超えた様々な主体が参画する枠組み (**エリアプラットフォーム**) を構築
- 官民を問わない様々な主体が将来像を共有し、その実現に向け官民連携で取り組む「**未来ビジョン**」を策定

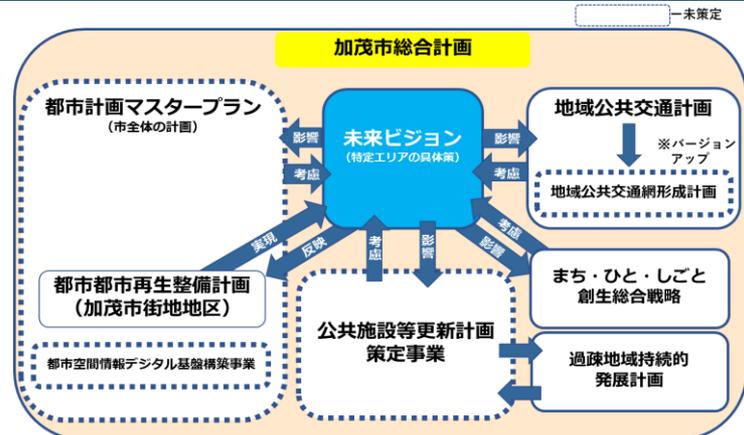
## 本事業の目的

- 「**エリアプラットフォーム**」を構築し、多様な主体が同じ方向でまちづくりを進めるため「**未来ビジョン**」を策定。
- 未来ビジョンの実現に向け、**エリアプラットフォーム**が方向性の舵取りを担い、多様な主体による相互連携を促すことで、持続的に賑わいと活力あふれるエリアを推進

## 対象エリア



## 未来ビジョンの位置付け





# エリアプラットフォームの役割 (案)

- 未来ビジョンの実現に向けた全体協議・調整・情報共有が大きな役割

## (仮称) 全体会

(現協議会メンバーをベースに構成)

- 全体協議・調整・情報共有
- 予算・決算の審議・決定 等

## コアメンバー

(現ワーキングメンバーをベースに構成)

- 未来ビジョンの策定・進捗管理・改定検討
- 新たな取組の検討・提案 等

## まちづくり会社 (新たに設立)

- エリアプラットフォームとして取り組む事業の実施
- 未来ビジョンに共感するプレイヤーとの連携・中間支援 等

取組やビジョンに共感し、  
行動する市民・団体等  
(プレイヤー)

# エリアプラットフォームの役割（事例）

## 【新潟駅・万代地区】エリアプラットフォームの体制（案）

- ① 将来ビジョンに基づくエリアのまちづくりの方向性を協議する場
- ② まちづくりに関わる人々が情報共有、情報交換、連携をする場

※ エリアプラットフォーム独自の取組の実行部隊はなく、プラットフォーム自体は、基本的に事業主体にならない位置づけ  
⇒ 具体の事業は、官民間わず、事業主体（プレーヤー）が実施する

### プラットフォームの当初体制（案）

#### 幹事会

主にまちづくりの方向性を協議する会議体  
エリアを代表する団体・企業等の代表で構成

#### <幹事会がやること>

- ビジョンの具現化に向けた取組の実施結果や、当該地区で起きている変化を共有し、ビジョンに記載された施策やロードマップについて、進捗管理や今後の方向性の協議を行う
- プラットフォームの運営に関する事項の協議を行う

将来ビジョンに賛同し、実現に向けて取り組んでいただける

企業

商店街

IT  
団体

その他  
団体

Etc.

#### <幹事会以外の参加者ができること>

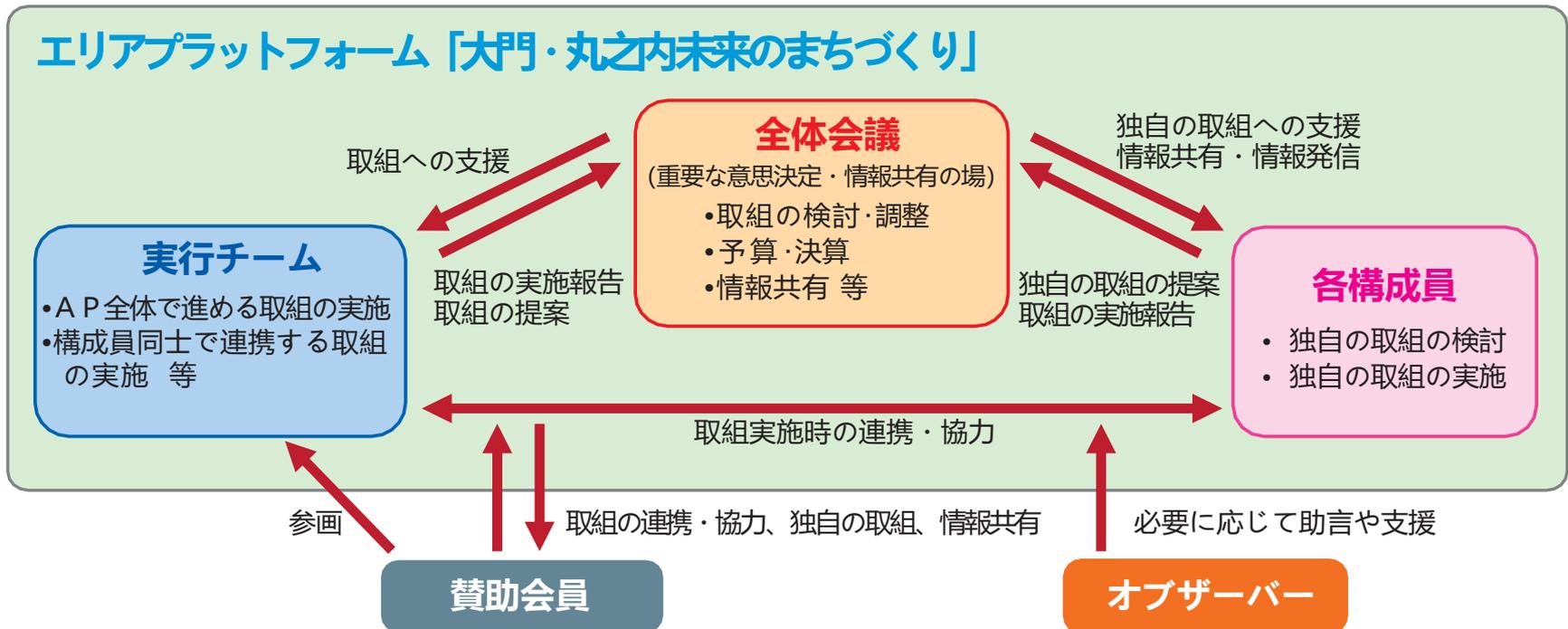
- 幹事会における協議事項等のエリアのまちづくりに関する情報の入手
- ビジョンの具現化に関する幹事会への提案

事務局（新潟市 + a）

# エリアプラットフォームの役割（事例）

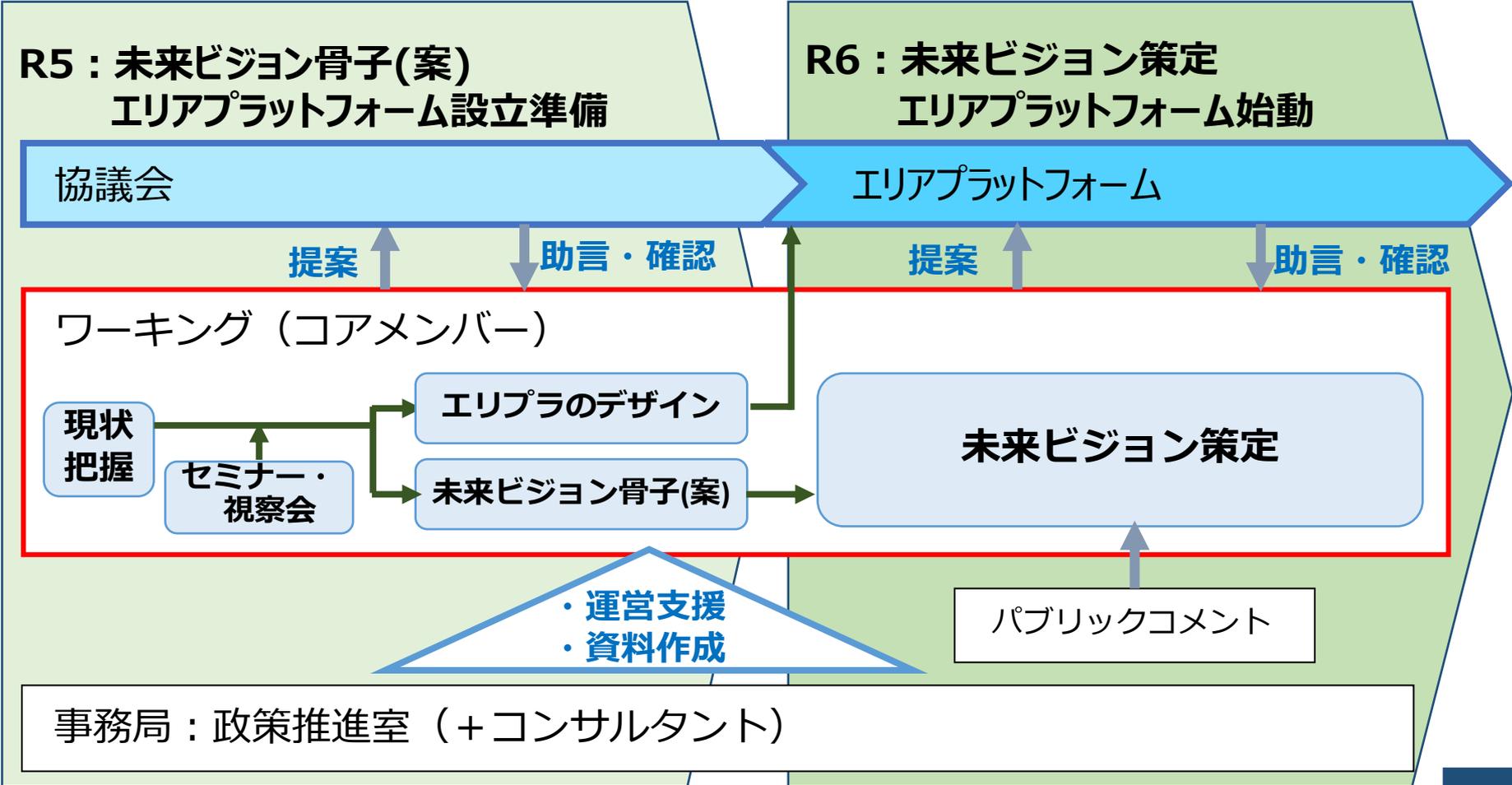
## エリアプラットフォーム「大門・丸之内 未来のまちづくり」の体制（案）

- ①全体会議：重要な意思決定及び構成員同士の情報共有の場として構成員全員で組織
  - ②実行チーム：活動を機動的かつ柔軟に進めるため、構成員の一部により組織
- ※エリアプラットフォーム内に実行部隊を組織

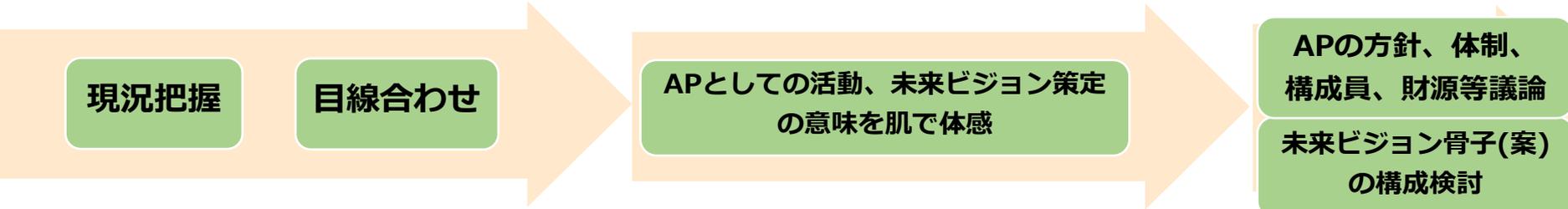


# 検討の進め方

- [R5]** 協議会の下に、ワーキングを設置
  - ▶ワーキングにおいて、エリアプラットフォームのデザイン、未来ビジョン骨子(案)検討
- [R6]** 協議会はエリアプラットフォームに移行し活動を始動
  - ワーキングは引き続き、未来ビジョンを検討・策定
- [R7以降]** 未来ビジョンに基づく取組を官民連携で推進



# R5年度上期スケジュール（案）



## 第1回準備協議会

- 【議事内容】
- ・当事業について
  - ・これまでの検討状況 & エリア内現状分析
  - ・今後のスケジュール

## セミナー

- 【議事内容】
- ・講師によるエリアプラットフォームや未来ビジョンの解説。
  - ・その他議論状況に合わせた内容展開予定。
- ※実施時期  
7～10月で検討中

## 第1回WG

- 【議事内容】
- ・前回議論振返り
  - ・到達点確認
  - ・まちなかエリアで活躍するプレイヤー活動状況 & 資源・資産について
  - ・まちなかエリアの今後
  - ・エリアプラットフォームでの役割
  - ・視察研修について

## 第2回WG & 視察

- 【議事内容】
- ・これまでの議論を踏まえ、エリアプラットフォーム & 未来ビジョン設立・策定の先進地にて実際の取組を視察。

## 第2回準備協議会

- 【議事内容】
- ・検討経過報告
  - ・到達点確認
  - ・エリアプラットフォームでの役割
  - ・未来ビジョン骨子(案)について

# R5年度下期スケジュール（案）



APの方針、体制、  
構成員、財源等議論  
未来ビジョン骨子(案)  
の構成検討

AP設立後の事業計画、  
規約等、案の完成

未来ビジョン骨子(案)  
& AP設立案完成

AP設立前  
最終確認

エリアプラットフォーム  
& 未来ビジョン骨子(案)  
の整理

## 第3回WG

## 第4回WG

## 第3回準備協議会

## 第5回WG

## 第4回準備協議会 & AP 設立総会

- 【議事内容】
- ・ 前回議論の振り返り
  - ・ 到達点確認
  - ・ 未来ビジョン骨子(案)について
  - ・ 持続可能なエリアプラットフォームの体制等について

- 【議事内容】
- ・ 前回議論の振り返り
  - ・ 到達点確認
  - ・ 未来ビジョン骨子(案)について
  - ・ エリアプラットフォーム(案)について

- 【議事内容】
- ・ 検討経過報告
  - ・ 到達点確認
  - ・ 未来ビジョン骨子(案)について
  - ・ エリアプラットフォーム(案)について

- 【議事内容】
- ・ 前回議論の振り返り
  - ・ 到達点確認
  - ・ 未来ビジョン骨子(案)最終確認について
  - ・ エリアプラットフォーム(案)最終確認について

- 【議事内容】
- ・ 検討経過報告
  - ・ エリアプラットフォーム(案)について
  - ・ 未来ビジョン骨子(案)について

R6 APによる未来ビジョン策定

# 【参考】エリアプラットフォームと行政の関わり(案)

**R5年度は行政が事務局機能を担いながら、エリアプラットフォームの構築、未来ビジョンの検討に取り組み、R6年度以降に構成メンバーを含めた多様な主体が事業を進めるための土台づくりを行う。**

行政は、将来像の実現に向けて多様な主体が活動しやすい環境・条件を整備

項目	定義	R5年度	R6年度	R7年度
エリアプラットフォーム	方向性を合議する「場」	協議会で立上げ準備 (運営・規則制定など)	<div style="text-align: center;">総会</div> <div style="text-align: center;">▼</div> まちづくり事業を合議・承認 ビジョンに基づき方向性をコントロール	
		(行政の関わり) ・協議会事務局 ・財源確保支援	・いち構成員として財源確保等手続き支援 ・事務局継続 or まちづくり会社他へ移管	
未来ビジョン	市民みなが共有する「目標」	エリプラ傘下のWGで協議 (コンセプト⇒具体化)	<div style="text-align: center;">発表</div> <div style="text-align: center;">▼</div> 到達度・実情に即した定期改訂	
		(行政の関わり) ・WG事務局 ・財源確保支援	・定期モニタリング/改訂を主導 ・市の各種計画、政策へビジョン反映	
(民間の) まちづくり会社他	エリプラの「一員」 かつ「事業主体」	民間主導での法人 立上げ検討	<div style="text-align: center;">法人化</div> <div style="text-align: center;">▼</div> エリアプラットフォームへの参画 ビジョンに基づく事業の発意・実行	
		(行政の関わり) ・設立支援/連携	・都市再生推進法人へ認定し権限強化 ・事業への財源確保や許可等手続き支援	

## 【参考】未来ビジョンについて

官民の多様な関係者の連携・協働によるまちづくりを進めるためには、プラットフォームメンバー及び市民がエリアの将来像について共有することが重要

未来ビジョン

未来ビジョンの記載事項（例）…具体的な内容は協議会・WGで検討

地域の特性の現況分析

エリア内の強み・弱み・機会・脅威など

地域の特性を踏まえた目指す姿

ビジュアルで示すエリアの将来像

目指す姿に向けた施策と役割分担

将来像を実現するための方針や施策、実施体制（役割分担）

目指す姿にむけたロードマップ

将来像を実現するため、各段階ごとの取組の内容等（短期、中期、長期等）

## ②まちなかエリアの現状 (R4年度の検討結果の共有)

# R4年度の検討について

## ○外部有識者を含めた会議で

### 現状分析や方向性等R5年度以降の活動のあり方を協議

日程	第1回 (R4.11/22)	第2回 (12/5)	第3回 (12/22)	第4回 (R5.1/17)
検討内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 現状分析</li> <li>● 対象エリア</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 対象エリア課題と将来像イメージ</li> <li>● 課題に対する打ち手の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 具体的な取組案</li> <li>● 今後の活動体制の検討</li> <li>● 今後のスケジュール</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 協議内容のとりまとめ</li> </ul>

### 【エリア内の強み・弱み・機会・脅威】

#### 強み

- ・コンパクトで歩きやすい環境  
(例:加茂駅、アーケード付き商店街、加茂山、加茂川等)
- ・人口比に対する駅利用者数が多い
- ・イベントによる多数の観光客来場
- ・歴史的文化財が点在
- ・商店街→個性的な店舗多数

#### 機会

- ・コロナ禍での社会変容  
(例:屋外利用価値向上、リモートワーク等)
  - ・DX、移住、二拠点居住トレンド
  - ・地方創生ブーム
  - ・インバウンドの復活
- など

#### 弱み

- ・ヒトの滞留や回遊が生まれにくく、賑わい創出や消費活動に結びつかない。  
(例:駅利用者が商店街を利用しない等)
- ・観光客のピーク時に、それを活かす環境ができていない。  
(例:宿泊施設、駐車場の不足・認識しにくい等)
- ・商店街空間らしいデザイン配慮不足
- ・バリアフリー化できてない駅舎

#### 脅威

- ・高齢化・人口減少→店舗廃業リスク
  - ・施設の老朽化
  - ・小売業の販売方法変化
- など

# エリアの強み

## ◆コンパクトで歩きやすい環境

JR加茂駅から伸びる、近代化されたアーケード付き商店街を中心に、個性的な街路や街区、加茂山・加茂川といったまちの資産がコンパクトに集積し、歩きやすい環境が整っている。



アーケード商店街



加茂山



加茂川



JR加茂駅

## ◆人口比に対する駅利用者数が多い

加茂駅を利用して通学する高校が3校、大学と短大が各1校あり、学生を中心に、人口（約2万5千人）比における駅利用者が非常に多い。

## ◆歴史的文化的文化財が点在

## ◆商店街→個性的な店舗多数



青海神社

## エリアの弱み

### ◆ヒトの滞留や回遊が生まれにくく、賑わい創出や消費活動に結びつかない。

- ・ 駅利用者や商店街周辺自然空間利用者が商店街まで足を延ばさない
- ・ 駅周辺のパブリックスペース（公共空間）不足



イベント時に商店街まで人が来ない

### ◆観光客のピーク時に、それを活かす環境ができていない。

- ・ 宿泊施設/駐車場数・視認性不足
- ・ イベント時の情報発信力不足
- ・ 個々で行われ連携されていないまちづくり・賑わいづくりの活動



- ◆ 商店街空間らしいデザイン配慮不足
- ◆ バリアフリー化できてない駅舎

## 機会

### ◆コロナ禍での社会変容

- ・「屋外」という魅力価値の向上
- ・場所を選ばない働き方（リモートワーク等）



### ◆DX、移住、二拠点居住トレンド

### ◆地方創生ブーム

### ◆インバウンドの復活



## 脅威

### ◆高齢化・人口減少による店舗廃業リスク

### ◆施設等の老朽化

### ◆小売業の販売方法の変化

- ・インターネットによる無店舗販売等、消費行動の変化



## キーワード

居心地のよさ

まちの資源を活かす

歩いて楽しめる

## 必要な要素

地域住民の生活の質向上

商店街を中心軸に  
周辺資源の関連付け

回遊性と滞在性の向上

## 熟慮すべき4つの軸

交通再編による アクセス性の向上	<ul style="list-style-type: none"><li>● JR加茂駅及び駅前広場の再整備による都市交流機能の強化を目指す</li><li>● 当該エリアに適した交通手段とまち歩きを組合せることで回遊性と滞在性の向上を図る</li></ul>
既存ストックを活用した滞在性・回遊性の向上	<ul style="list-style-type: none"><li>● 空き家・空き店舗を有効活用した宿泊施設等により滞在性の向上と消費活動の促進を図る</li><li>● 空き地を活用したイベントや週末駐車場の設置等により利便性の向上と賑わいの創出を図る</li></ul>
賑わいを生むまちなかの拠点づくり	<ul style="list-style-type: none"><li>● 地域のつながりや賑わいを再生する多世代交流の場として、地域拠点の整備を図る</li><li>● まち全体の情報の集積・発信を担うまちのシンボルとしての「ショーケース」化を推進する</li></ul>
最高に幸せな日常を感じるまちのブランディング	<ul style="list-style-type: none"><li>● 既存アセットを磨き上げ、加茂に暮らす人々が日々を生き生きと楽しむ姿を日常的なコンテンツとしてブランディングし、市の内外に向けて発信することで、各種(関係、交流、移住、定住)人口の増加を図る</li></ul>

# ③まちなかエリアの将来イメージ (ありたい姿の仮説)

# まちなかエリアの将来イメージ (ありたい姿の仮説)

※本日の意見交換の素材として  
作成したもので決まったものではない

「最高に幸せな日常を感じるまち」をコンセプト  
としたエリア全体のブランディング

幸福循環の  
まちづくり

➤ 加茂市のファン (関係人口) 増加

➤ 市民のシビックプライドの高まり



● 賑わいを生むまちなかの拠点 (多世代交流)

⇄ みず・まち・みどりをつなぐ軸

※図面上の位置はイメージであり、決まったものではない

東西市街地間での  
新たな人の流れによる  
賑わい創出

既存ストック (買い物・医療・  
全天候型ストリート等) を活かした  
楽しく、暮らしやすいまちづくり

加茂川を軸とした賑わい創出  
・河川敷空間の有効活用  
・歩いて楽しい水辺空間

都市交流機能の強化  
・JR加茂駅及び  
駅前広場の再整備  
・交通手段とまち歩  
きを組合せ

加茂山公園の魅力向上  
・まちなか自然・歴史体験  
・賑わい、交流機能の充実

既存ストックを活用した滞在性・  
回遊性の向上 (エリア全体)  
・空き家・空き店舗の有効活用  
・空き地を活用したイベントや  
週末駐車場の設置



# 他都市の未来ビジョンでの将来像のパターン

都市名	人口 (R2)	ビジョン名称	策定主体
北海道千歳市	97,950人	ちとせ未来ビジョン	ちとせプラットフォーム

マンガチックで  
親しみやすい



わたしたちが  
目指す  
エリアの将来像

たくさんのヒト・モノ・コトが集まり、  
楽しく過ごせるまちのリビング

＼エリアの具体的なイメージノ

誰でもまちづくりに参画し  
絆を育てていくエリア  
人づくり

グリーンベルトや千歳川などの  
資源を活用して  
楽しみと出会うエリア  
空間資源の活用

交流とコミュニケーションの  
拠点となり  
経済の活性化につなげるエリア  
日常的な賑わい

歩いて楽しい  
回遊したくなるエリア  
ウォーカブルな  
まちなか

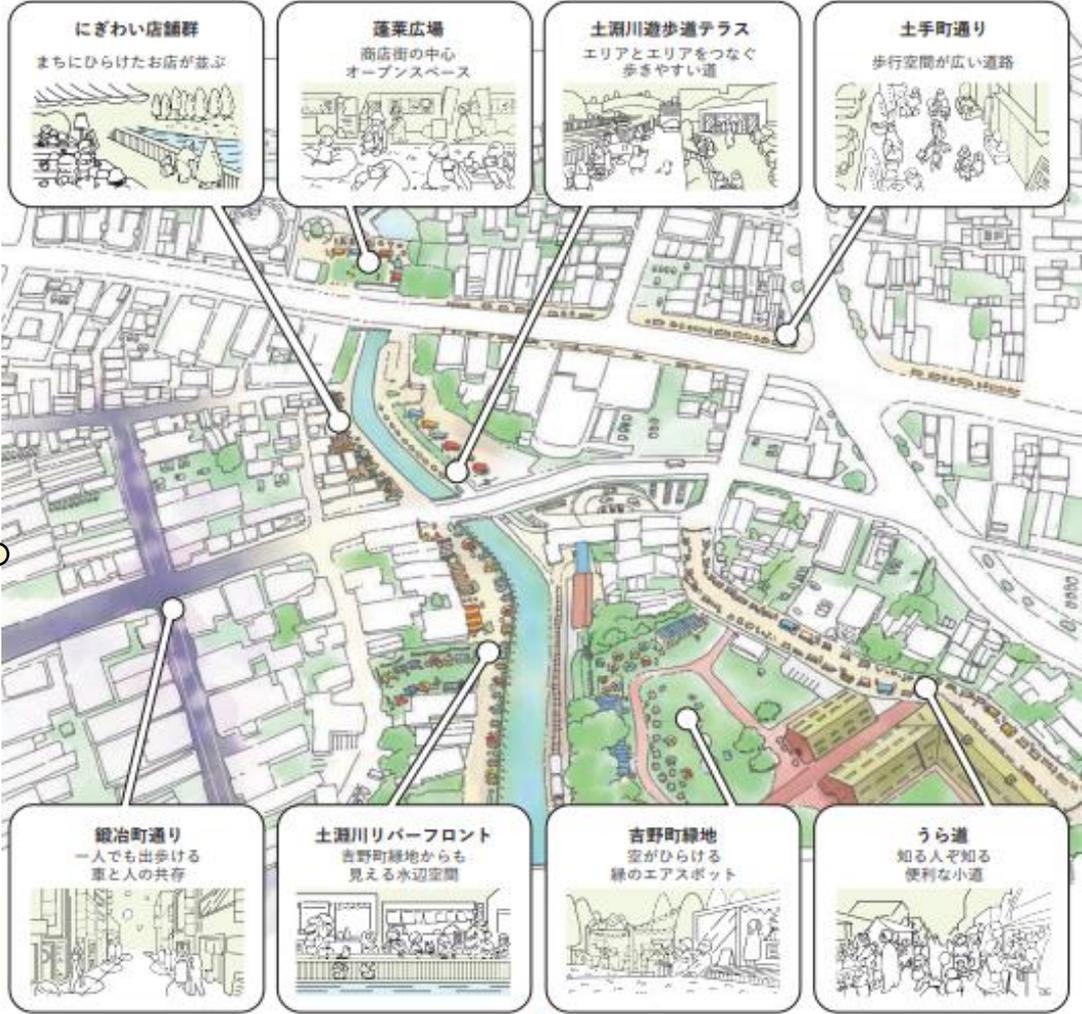
情報を通じて多様な人と  
まちがつながるエリア  
効果的な情報発信

この将来像を  
実現するため  
わたしたちに  
何ができる？

# 他都市の未来ビジョンでの将来像のパターン

都市名	人口 (R2)	ビジョン名称	策定主体
青森県弘前市	168,466人	ひろさき、このさき、VISION BOOK 2050	中土手町まちづくり推進会議

鳥の目で  
エリア全体を俯瞰



# 他都市の未来ビジョンでの将来像のパターン

都市名	人口 (R2)	ビジョン名称	策定主体
宮城県気仙沼市	61,147人	気仙沼まちなかエリア未来ビジョン みんなの母港大作戦！ ～復旧・復興から・沸騰へ～	気仙沼まちなかエリア プラットフォーム

## 04.

### (2) 理想シーンの妄想 ～まちなか妄想ガイドブック～

- まちなかエリアのめざす将来像
01. まちなかエリア未来ビジョンの策定にあたって
  02. まちなかエリアの基本情報
  03. エリア関係者の声の抽出
  04. まちなかエリアのめざす将来像
    - (1) めざす目的の明確化
    - (2) 理想シーンの設定
    - まちなか地区開発ビジョン
  05. ビジョン実現に向けた具体的方策
  06. 今後の推進体制と事業スケジュール

#### 内湾周辺エリア



## 04.

### (2) 理想シーンの妄想 ～まちなか妄想ガイドブック～

- まちなかエリアのめざす将来像
01. まちなかエリア未来ビジョンの策定にあたって
  02. まちなかエリアの基本情報
  03. エリア関係者の声の抽出
  04. まちなかエリアのめざす将来像
    - (1) めざす目的の明確化
    - (2) 理想シーンの設定
    - まちなか地区開発ビジョン
  05. ビジョン実現に向けた具体的方策
  06. 今後の推進体制と事業スケジュール

#### 市役所周辺 & 八日町エリア



エリアを複数に分割して、人の活動が見えるように表現